

式 辞

最初に新年の挨拶をします。皆さんも大きな声で挨拶してください。「あけましておめでとうございます。」

さて、十四日間の冬休みが明け、いよいよ今日から3学期が始まります。みなさんにとって今回の冬休みはどうでしたか。そして新年の抱負や目標は、しっかりと決めましたか。(決めた生徒は挙手してください)この後の学級活動などで、クラスや個人の新年の抱負を決めるかもしれませんが、必ず「有言実行」してください。

さて三年生の多くの皆さんは、今月に市内外の私立高校などの入試を受験することになっています。

三年生にとってこれからが試練の時期です。これからの時期は不安になったり、受験の時、緊張したりするのは誰もが味わうことで自然なことです。

皆さんは東京箱根大学駅伝を知っていますか。私事ですが毎年、東京や横浜に行って箱根駅伝を見ています。今年はテレビでの観戦でしたが。20kmを超える距離を選手たちは信じられないスピードで走るのですが、さすがに最後の数キロは辛くて顔がゆがみ、限界ぎりぎりの走りで襷を次の走者に渡すとすぐに倒れ込む選手がたくさんいます。レース後、倒れ込むほど苦しいことについてアナウンサーにインタビューで聞かれ「辛くて辛くて何度もあきらめそうになりました。でも今まで必死に頑張ってきた自分を信じて自分に克つことができました。走りきることができ、今は満足しています。」というコメントでした。このことは今の三年生にも通じると思います。

大切なことは、不安になったり緊張していると感じた時は、自分を信じ自分に克つことをポジティブに考えることです。結果ばかりを気にするあまり、力を発揮できないことが一番悔いが残ります。「自分のベストを尽くす」、いわゆる「人事を尽くして天命を待つ」の気持ちで臨むことを心がけてほしいと思います。

一、二年生には、自分を今以上に高めるためにそして三年生になった時に自分の進路をしっかりと見つめるために様々なことに躊躇せず、挑戦してください。三年生には、自分を信じそして己に克つ、いわゆる「克己心」を持つことを話しましたが、一・二年生には、「挑戦」そして「失敗から学ぶ」ことを実践し、次の学年に堂々と進める力を蓄えてほしいと思います。

三年生は残り44日、一・二年生は49日、2学期の約半分というあっという間の3学期です。だからこそ皆さんが心新たに誓った「新年の抱負」である目標を目標に終わらせることなく、有言実行してくれることを大いに期待しています。

また、三年生は自分の進路実現のために悔いのない毎日を送るとともに、東中の仲間と過ごす日々を噛みしめながら、3月13日の卒業式を迎えてください。

一・二年生は、東中の伝統を築いてきた三年生に感謝するとともに4月に入学してくる新生に「さすが先輩」と言われる誇れる人になれるように精一杯取り組んでください。

最後になりましたが、皆さん一人ひとりにとってこの3学期の一日一日が忘れられない素晴らしい日々になることを期待し、始業式の式辞といたします。